

平成 25 年度 ふるさと納税による寄附金の活用状況

本町は、「かごしま応援寄附金」の取組みと合わせ、独自に「屋久島町だいすき寄附条例」を制定し、寄附金の募集を行ってきました。

平成 25 年度末現在で、

○ かごしま応援寄附金 1,984,003 円 (うち、本町指定 延べ 57 名)

○ 屋久島町だいすき寄附金 11,949,354 円 (延べ 93 名)

の寄附をいただきました。誠にありがとうございました。

平成 25 年度は、「青森ねぶた招致観光交流事業」に 1,543,427 円を活用させていただきました。

青森ねぶた招致観光交流事業の活動に寄付金を活用

本町の世界自然遺産登録 20 周年を記念して、友好盟約を結ぶ青森市から浪岡区長をはじめ総勢 50 名の青森市民が平成 25 年 8 月 2～4 日の日程で来島し、町内の一湊、安房、宮之浦の各集落と屋久島ご神山祭りで「ねぶた運行」が行われました。

青森市とは、旧浪岡町時代の平成 3 年度に始まった中学生交換ホームステイ事業を中心に交流を行ってきたことが縁で、平成 22 年に本町と友好盟約を結んでいます。

宮之浦の火之上山埠頭で 4 日にあった屋久島ご神山祭りでは、7 月に金魚ねぶたを作成した一湊区の子供たちや、屋久島高校生、その他各団体の町民約 300 人が運行に参加し、来島した青森市民とともに「ラッセーラ、ラッセーラ」のかけ声に合わせて飛び跳ね、北国の祭りを存分に楽しみました。また会場には、約 4,000 人を越える観客が集まり、祭り会場は大いに盛り上がりました。

今回で 3 度目となった「ねぶた運行」は、メインの屋久島ご神山祭り会場の他に、初めての取り組みとして一湊、安房、宮之浦の集落内で運行し、多くの町民が北国の祭りにふれ、青森市民との交流を深めることができました。



8 年ぶり 3 度目の来島となった青森市「ねぶた」です。



一湊集落でのミニねぶたが運行されました。



8月3日、青森市交流会を行いました。



安房集落でのミニねぶたが運行されました。



宮之浦集落でのミニねぶたが運行されました。



ご神山祭りも大いに盛り上がりました。

